

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名 <small>きたきんぎとよおか</small> 北近畿豊岡自動車道 <small>わだやまようか</small> （一般国道483号 和田山八鹿道路）	事業 区分	一般国道 主体 国土交通省 近畿地方整備局			
起終点 自：兵庫県養父市八鹿町 高柳 <small>やぶ ようちやうたかやなぎ</small> 至：兵庫県朝来市和田山町市御堂 <small>あさこ わだやまちょう いちみどう</small>	延長 L=13.7km				
事業概要 国道483号北近畿豊岡自動車道は、兵庫県の北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する、全長約70kmの高規格幹線道路として整備中の路線である。和田山八鹿道路は、北近畿豊岡自動車道の一部を形成し、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と連携し、地域連携の強化、災害時における交通の確保、救急医療への支援、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路である。					
H9年度事業化	H11年度都市計画決定	H13年度用地着手	H18年度工事着手		
全体事業費	約1,011億円	事業進捗率	約19%	供用済延長	0.0km
計画交通量	19,200～20,600台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 662/926億円 事業費：609/867億円 維持管理費：53/59億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 986/986億円 走行時間短縮便益：1,072/1,072億円 走行経費減少便益：-124/-124億円 交通事故減少便益：37/37億円	基準年 平成20年度
	(残事業)	1.5			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.6(交通量+10%) B/C=1.3(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.4(事業費+10%) B/C=1.6(事業費-10%)					
事業の効果等 ・個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上) ・安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設のアクセス向上)					他14項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 平成20年11月、北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会(豊岡市他関係4市2町の首長で構成)より早期整備の要望を受けている。 平成20年11月、北近畿豊岡自動車道(但馬地域)の整備を進める会(豊岡市他関係2市2町の首長で構成)より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・沿線地域では、大型量販店などの企業の進出や自動車交通の増加など、周辺環境の変化が見られる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに、用地取得は99%以上完了しており、今後残る区間の用地買収及び工事進捗を図る。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き事業を推進し、平成23年度内の暫定2車線供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 橋梁における新技術の採用、円山川からの河道掘削土を八鹿ICなどの盛土に流用するなど、資源の有効利用及びコスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

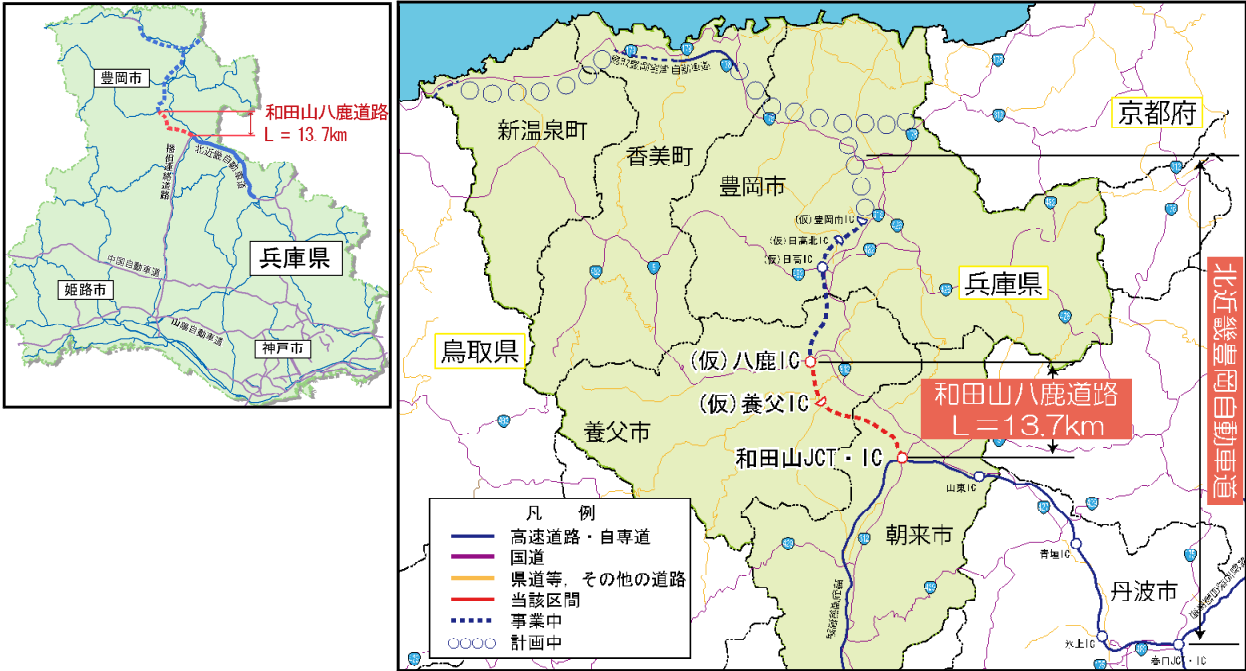
再評価結果(平成21年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	北近畿豊岡自動車道 (一般国道483号 和田山八鹿道路)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：兵庫県養父市八鹿町 高柳 至：兵庫県朝来市和田山町市御堂	延長	L=13.7km		

事業概要図
【位置図】



【概要図】

